

鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について

令和8年10月8日
県民課

「輝く鳥取創造総合戦略」に掲げる政策をはじめ、県政全般の満足度などについて県民にアンケートする「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（第11回）を実施しましたので、その結果について報告します。

1 調査概要

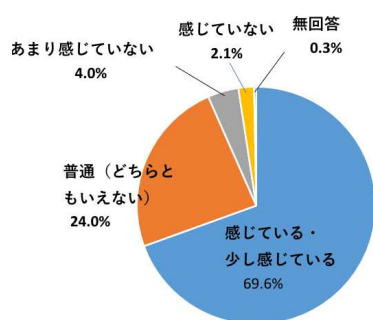
- (1) 目的 県民の関心や意向、要望等の意識を把握するとともに、継続調査をすることで、その意識の変化を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活用する。
- (2) 調査対象 県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名（住民基本台帳に基づく無作為抽出法）
- (3) 調査方法 郵送（回答は調査票の返送又は電子申請サービスによる回答のいずれかを選択）
- (4) 調査期間 令和8年6月25日から8月19日まで
- (5) 回答数 1,523名（回答率：50.8%（令和7年度比2.4ポイント減少））

2 結果概要

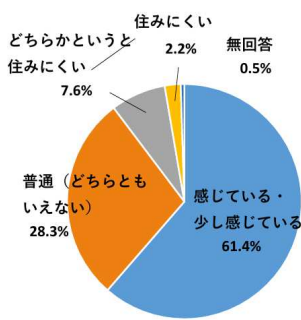
I 鳥取県の住みやすさ

- ①「鳥取県に対しての愛着や誇り」には、69.6%の人が「（愛着や誇りを）感じている・少し感じている」と回答し、「今暮らしている地域の住みやすさ」には、61.4%の人が「とても住みやすい・どちらかというに住みやすい」と回答した。いずれも高い水準ではあるものの、令和2年度以降やや減少傾向にある。
- ②「鳥取県の暮らしに関してどう思うか」10項目について聞いたところ、「そう思う」との回答は「豊かな自然環境に恵まれている」が90.2%と11年連続で最も高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が62.5%であった。
- ③鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか（10段階評価、10が「とても幸せ」）を聞いたところ、「5」（普通）が27.5%、次いで「7」が19.3%で、「5」以上の回答は88.6%と全体の約9割を占め、前年度（89.4%）に引き続き高い割合となった。

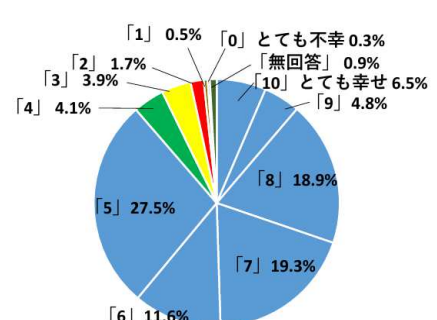
鳥取県に対して愛着や誇りを感じている



今暮らしている地域の住みやすさ



鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度

- (1) 鳥取県が実施している施策等に関し、①～③のテーマごとに満足度（5段階）及び今後の優先度（重要度が高い取組を3つ選択）について質問した。

①豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

7つの取組について聞いたところ、満足度（「満足」と「やや満足」の計。以下同じ。）は「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が37.4%と最も高かった。今後優先すべき項目は「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が63.8%と最も高く、次いで「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が61.7%であった。

②人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

7つの取組について聞いたところ、満足度は、「日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進」が26.1%と最も高く、今後優先すべき項目は「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」が62.6%と最も高かった。

③幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

6つの取組について聞いたところ、満足度は、「防災・減災対策の強化」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が18.8%と同率で最も高く、今後優先すべき項目は「県内産業の持続的発展をめざす取組」が56.5%と最も高かった。

④男女共同参画社会づくり

男女に関する役割などについて8つの項目について聞いたところ、「そう思う（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の計。以下同じ。）」と回答した人は、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」がいずれも約8割、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」は約7割であった。

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策について8つの施策を提示したところ、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が58.6%と8年連続で最も高かった。

⑤性別に関するアンコンシャス・バイアス

性別に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）について、5つの項目について聞いたところ、「そう思う」と回答した人は、「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が68.8%と最も高く、次いで「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が47.4%であった。

性別による生きづらさを感じたことがあるかについて聞いたところ、「ある」が24.5%、「ない」が48.9%であり、どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されると思うか聞いたところ、「家庭と仕事を両立しやすい環境」が62.5%と最も高く、次いで「性別に関係なく自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」が55.3%であった。

Ⅲ 重点施策への関心・認識 鳥取県の人口減少対策について

人口減少が続いていく状況についてどう思うか、6つの項目について聞いたところ、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が39.9%と最も高く、今後強化すべき施策は「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」が39.9%と最も高かった。

また、人口減少で影響があると考えられる分野について、9つの分野の関心度について聞いたところ、「地域集落や地縁団体（自治会、町内会等）による地域住民同士の助け合いへの影響」が12.6%と最も高く、次いで「人と人との出会いや結婚の機会への影響」が9.1%であった。

3 今後の活用

アンケート結果は、庁内各課と共有し、各種会議のほか、今後の施策の立案や評価・見直し等の過程において基礎資料として活用する。